

北海道大学病院に通院・入院されたことのある
患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学研究に関する倫理指針」（令和3文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号、令和4年3月10日一部改正）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「連絡先」へご照会ください。

【研究課題名】

自己免疫疾患患者を対象とした機械学習に基づくミコフェノール酸モフェチル初期投与アルゴリズムの開発

【研究機関名・長の氏名】

北海道大学病院・病院長 南須原 康行

【研究責任者名・所属】

菅原 満（北海道大学病院薬剤部長／北海道大学大学院薬学研究院教授）

【研究の目的】

自己免疫疾患を対象として、ミコフェノール酸モフェチル（MMF）の投与データ（投与量、血中濃度）と各種臨床検査値ならびに併用薬を後方視的に解析し、機械学習を用いたミコフェノール酸モフェチル（MMF）初期投与アルゴリズムを開発することを目的とします。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2015年1月1日から2025年12月31日の間に北海道大学病院リウマチ・腎臓内科に入院し、調査期間内にMMFを投与され、血中濃度測定が行われた18歳以上の患者。

●利用するカルテ情報

2025年12月31日までのカルテ情報を利用させていただきます。

年齢、性別、身長、体重、体表面積、MMFの投与データ（投与量、血中濃度）、治療開始時、治療中の検査データ（血清クレアチニン、eGFR, Alb）、主疾患名、プレドニゾン（PSL）投与量、プロトンポンプ阻害薬（PPI）併用有無、その他併用薬

【研究実施期間】

実施許可日（情報の利用開始：2026年7月頃）～2028年12月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることが

できます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

＊上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院 薬剤部 薬剤師 小野寺 駿

電話 011-706-5689 FAX 011-706-7616